



バ・ト・ン



合志市社会福祉協議会 障がい者支援センター 「れんがの家」だより

電話:242-2271 FAX:223-5625

ヘルパーステーション便り

【御利用者のご紹介】

合志市幾久富在住 難波秀夫さま (76歳)
週3回・1回2時間の同行援護サービス
(視覚障害の方の外出支援)をご利用の難波様をご紹介します。
視力障害のあらわれる難波様、大好きなカラオケの歌詞はヘルパーが先読みしてお伝えするなど、難波様の目となり情報をお伝えするのが私たちの役割です。

難波様のお話です・・・。
「ゆめタウンへの買い物や趣味のカラオケ、図書館などへの外出に同行してもらっています。ゆめタウンでは、新しい商品、珍しいものを教えてもらったりと、情報を色々得ることができてとても良いです。また、外出し戸外を歩くことで気分転換ができています。きっと、同年齢の人の何倍も歩いていますよ！音楽コンサートにも2回同行してもらいました。これからも、コンサートや催しものいろんなところへ、出かけて行きたいです。」



カラオケ熱唱

【登録ヘルパーさんご紹介】

◆福元 聡子(ふくもとさとこ)ヘルパー
『ご自宅を訪問させて頂くのはほんの短い時間ですが、ご利用者と一緒に創る大事な時間です。一つひとつの出会いを大切にしていきたいと思っています。』
◆西山 順子(にしやまじゅんこ)ヘルパー
『ご利用者が言いにくいこと、なかなか口に出せないことでも、気楽に話してもらえようような存在感のあるヘルパー目指しています。』



ご利用者の障害を理解し、ご希望に合った必要なサービスが提供できるよう職員も頑張ってます。



ボランティア紹介

【合志 明公 先生】
スポーツ吹き矢



先生は「社団法人日本スポーツ吹き矢協会」の会員で、数々の大会で、優秀な成績をおさめていらっしゃいます。現在は、公認指導員の資格取得のためにも頑張っているそうです。『スポーツ吹き矢は子どもから大人まで楽しめる競技で腹式・胸式呼吸を用いるので健康維持や集中力を高めることができます。さらにはダイエットにも効果的です。的を狙う緊張感と矢を吹いた瞬間の開放感をぜひ体験して欲しいと思っています。』・・・とのこと

「日中一時支援事業」便り

冬休みの期間子ども達は、初詣・凧揚げ・こま回しなどのお正月の伝統行事を体験しました。年初めには、今年の願いや夢を『正月』の二文字に託して書初めをしました。



黒石神社へ初詣



凧揚げ



書初めしました～上手でしょう？^o^

『どんどや・鏡開き』

1月14日、日中の子供たちと、地域活動支援センターご利用者の交流もかねて、お正月の大イベント「どんどや」を行いました。門松やしめ縄・お守りを燃やし無病息災を祈ったあと、残り火で焼いた鏡餅でぜんざいを作り「鏡開き」をしました。



〈どんどや・点火式〉



〈無病息災を祈願〉



〈残り火で鏡餅焼き〉



残り火で焼いた餅は、一年間健康祈願になるそうです。みんなで竹の先に刺した餅を焼き(真っ黒になりました・・・)、ぜんざいにして食べました。おいしくて、皆おかわりしてました。

お知らせ！

《児童デイサービス》
スタート！

3月1日より「れんがの家」で児童デイサービスを始めます。ご利用の際は、市役所での支給決定が必要です。

＜利用定員＞

午前:5名
午後:5名

＜内容＞

- ・個別・集団療育 (生活訓練)
- ・関係機関との連携
- ・健康状態の確認
- ・送迎サービス・相談助言に関すること
- ★詳細は「れんがの家」にお問い合わせ下さい。



手話教室

皆さんも「手話教室」に参加してみませんか？れんがの家では、聴覚障害の方の協力のもとで行っています。毎週水曜日の午後と、月2回夜の7:00～9:00まで開催しています。参加している皆さんから、楽しい時間を過ごせたと喜んでいただいています。中には、全国手話検定の資格を目指している方もいらっしゃいます。参加費は無料ですので、興味のある方は、ぜひ一度見学に来て下さい。



★問い合わせ先:「れんがの家」

合志市須屋2540
電話:096-242-2271
FAX:096-223-5625
E-mail:renga@koshi-shakyo.co.jp



【小坂礼子さまの作品】

(幾久富在住)

手話で基礎となる指文字がパッチワークで見事に表現されています。縦70cm×横110cm、一針一針に込められたぬくもりが伝わってきます。「れんがの家」で展示中です。

「地域活動支援センター」だより 書道教室始めました。

お正月の書初めを機に、書道教室が始まりました。自分の好きな文字や言葉を自由に、楽しく書いています。その他の、各クラブも新しい企画・内容で活動中です。黒石地区(れんがの家周辺)の清掃などボランティア活動もなっています。今年は黒石神社の年間祭りの鏡餅を奉納させて頂くことにもなりました。



編集後記

新年第一号のバトンです。今月号よりデザインを一新してお届けします。『あなたと福祉をつなぐ』バトンでありたいと願いつつ、このバトンを通して、子ども達に、ご利用者に、そして家族の皆様にも、少しでも身近にある福祉のことをお伝えできればと想い、この紙面を担当しています。

「れんがの家」のご利用者とそのご家族に触れるたびに、この方たちの人生の心のページに暖かく刻まれるような人間でありたいと想いながら、日々頑張っているつもりですが、まだまだ力不足だと痛感しています。

ご利用者の笑顔がみたくらいという想いと裏腹に、逆に、ご利用者から元気とエネルギーをたくさんもらっています。昨日よりも今日、今日よりも明日、少しでもご利用者の笑顔が増えるよう、ご利用者と伴に寄り添って行きたいと思



「文責」藤本泰彦

「れんがの家」からのお知らせ

★ヘルパーステーションでは登録ヘルパーさんを募集しています。

★「れんがの家」の色々な活動のお手伝いをして頂くボランティアさんを募集中です。

料理・習字・音楽・スポーツなど、お得意なことをご利用者と一緒楽しんで頂ける方、ぜひご連絡ください。